専門教育科目　講義科目

科目名：	ビジネス倫理	科目コード	EA77
		単位	2
科目主査：	齊藤 聡　　担当講師： 齊藤 聡、田中 秀一	配当年次	3・4

授業の目的と概要	グループワーク： ☐ あり ☑ なし	個人ワーク： ☐ あり ☑ なし

企業の不祥事が頻発する中で、ますますビジネス倫理（企業倫理）が厳しく問われる時代を迎えています。たった１人のビジネスパースンの倫理観の欠如が、その企業を揺るがす深刻な状況をもたらしかねないのです。企業・個人の倫理観を育てる取り組みに市場の厳しい目が向けられています。 本科目では、ビジネス倫理がなぜ重要なのかを学習しながら、ビジネスパースンとしての正しい行動とはどのようなものかを考えます、自らの倫理観を確立し、国際社会に通用するビジネス倫理とはどのようなものかを学びます。うつ、いじめ、セクハラ、病気、介護等の社会問題化している事柄を、映像を使いながら現状を把握し、その解決策を探ります。

履修の前提となる科目	☐ あり ☑ なし	科目名：
履修の前提となる知識 その他特記事項	事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。	
テキスト	『働く人が知っておきたいビジネス倫理』齊藤 聡, 産業能率大学出版部, 最新版	

この科目の 到達目標	①ビジネス社会におけるビジネス倫理の位置づけと概念を理解し、様々な理論や考え方を理解できる。 ②実際の様々な問題、利益追求と倫理の関係などについて課題を提示でき、日々の仕事や家庭・個人においても自分なりのビジネス倫理観を確立し、使うことができる。
成績評価 の 方 法	授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。 ※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とします。

事後学習	哲学、倫理学を学ぶときは、その全体像を見極めて、偏らないことが大切です。偏った部分だけでは、自らの考えも偏ってしまいます。事例からその本質を見極めましょう。
事後学習の 参考文献	倫理、哲学に関するケーススタディが載っている本を読み、事例からその現実的な対応を模索すると役立ちます。

スクーリング受講時に用意するもの

☑テキスト ☑筆記用具 ☑カメラ・マイクは必須となります。